

平成29年度第1回赤平市総合教育会議議事録

▼日時：平成29年12月26日（火）午後4時00分～午後5時00分

▼会場：赤平市役所庁議室

▼出席者

（構成員）

市長	菊島好孝
教育委員	山本由美子
教育委員	瓜郁夫
教育委員	坪谷嗣香
教育委員	高澤司（欠席）
教育長	多田豊

（事務局）

総務課長	熊谷敦
庶務担当主幹	新堂ゆかり

（企画課）

企画課長	畠山渉
------	-----

（教育委員会）

学校教育課長	大橋一
社会教育課長	伊藤寿雄

▼内容

○ 総務課長

本日は、お忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。
只今から、平成29年度第1回赤平市総合教育会議を開催させていただきます。
会議に先立ちまして、菊島市長よりご挨拶を申し上げます。

1 市長挨拶

○ 市長

皆様、ご苦労さまでございます。足元の悪い中、猛吹雪の中、教育会議にご参加いただきありがとうございます。今年1年また、皆様方に大変、教育の部分でお世話になりました。赤平もよそのまちに負けない子ども達が喜ぶような教育を目指して頑張っていきたいと思っています。是非とも今年一年皆様方にご尽力賜ったご努力を来年もまた発揮をしていただきたいと思います。

一昨年度から新しい教育委員会制度がスタートし、まもなく2年半が経過するところでございます。多田教育長をはじめとしまして、教育委員各位におかれましては、新制度に基づいて適切な運営を行っていただき、感謝を申し上げたいと思います。

昨年度の総合教育会議では、赤平市立小・中学校適正配置計画（平成24年度から平成33年度）の変更、そして平成29年度実施予定の主要事業（教育関係）

について、この総合教育会議でご協議いただいたところでございます。

現在、赤平市小・中学校適正配置計画に基づきまして、統合中学校を建設中でありまして、皆様方ご承知のとおり来年7月の完成を目指して工事が進んでおりますけれども、計画どおり完成することを期待しているところでございます。

また、教育の喫緊の課題であります、少子化による児童生徒の減少等から、将来にわたって学校の適正規模が図れるよう小学校の再編も計画に基づき進めていかなければならないと考えてございます。

本日の議題といたしまして、「平成30年度実施予定の主要事業（教育関係）について」ですが、財政状況が厳しい中でございますけれども、大綱に掲げた基本方針を実現するために、皆様方のご意見をいただければと考えてございます。

教育の推進にあたっては、今後も十分な協議を行いながら進めてまいりたいと考えてございますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

簡単ではございますけれども、開催に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。 よろしく願いいたします。

○ 総務課長

ありがとうございました。

それでは、早速会議次第によりまして議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、赤平市総合教育会議の運営に関する要綱第4条第1項の規定によりまして、市長が議長となり進めさせていただきます。市長、よろしくお願いいたします。

2 議題

(1) 平成30年度実施予定の主要事業（教育関係）について

○ 市長

それでは次第によりまして進めさせていただきます。

平成30年度実施予定の主要事業（教育関係）につきまして、説明いただきたいと思います。

○ 学校教育課長

市長が提案する協議事項としまして、平成30年度実施予定の教育関係の主要事業について、説明いたします。別紙資料をご覧ください。

まず、赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略関係事業について説明いたします。

①人材育成・定住促進奨学金制度についてです。

事業の概要及び事業の進捗状況につきましては資料に記載のとおりであり、平成28年度より制度を開始いたしましたが、今年3月に3人が卒業し1人が転出しており、現在の貸付者は24人となっております。なお、平成30年度実施予

定の内容につきましては、平成２９年度と同様に実施いたします。

②高等学校等通学費等支援事業についてです。

事業の概要及び事業の進捗状況につきましては資料に記載のとおりであり、平成２８年度より事業を開始いたしました。平成２９年度の支援の状況は、四半期の二期目分まで支給を終えており、現時点で２００人の保護者に対し支給しております。なお、平成３０年度実施予定の内容につきましては、平成２９年度と同様に実施いたします。

③学生ボランティア事業（子ども塾）についてです。

事業の概要及び事業の進捗状況につきましては資料に記載のとおりであり、今年度より事業を開始いたしました。現在、江別市内の北翔大学・北海道情報大学から各１名、札幌市内の北海道大学から２名、北海道教育大学から１名、計５名の大学生に登録していただいております。各小・中学校における夏休み学習会において、４名の大学生に教職員の指導助手として、それぞれ２日間ずつ学習活動の支援をしていただいたところですが、自由参加の学習会にとどまっており、この事業の一環であります「子ども塾」の開設には至っていない状況です。なお、平成３０年度実施予定の内容につきましては、学生ボランティア事業を継続し、ボランティア学生を活用した子ども塾の開設を目指すとともに、市内民間塾の講師を活用した交流センターみらい、東公民館、市内各児童館等公共施設における公設塾を開設するため、費用を予算計上する予定です。

④学校ＩＣＴ環境整備事業についてです。

事業の概要及び事業の進捗状況につきましては資料に記載のとおりであり、平成２７年度より事業を開始いたしました。平成２７年度は小学校にタブレット端末６台、平成２８年度は小学校に１８台、中学校に４台、平成２９年度は小学校に７８台を配置しました。なお、平成３０年度実施予定の内容につきましては、タブレットを含む教職員用端末購入３５台と児童・生徒用１９０台をリース予定で、整備予算として１３,１７４千円を予定しています。

⑤学校施設整備事業についてです。

事業の概要及び事業の進捗状況につきましては資料に記載のとおりであり、平成２７年度は基本設計及び造成実施設計、平成２８年度は統合中学校の実施設計、グラウンド整備、造成等整備、平成２９年度は平成２９年度から平成３０年度までの継続事業であります建設工事・工事監理、備品購入、造成等整備、外構等工事を実施しました。なお、平成３０年度実施予定の内容につきましては、中学校統合事業として、継続事業であります建設工事・工事監理、備品購入、発電機購入、警備機器設定工事、パソコン・ネットワーク・防災ワイファイ整備で１,５９６,０８７千円、小学校統合事業として、基本構想・設計、現況測量、地質調査、解体工事実施設計で４２,０００千円を予定しています。

⑥炭鉱遺産公園整備事業についてです。

事業の概要及び事業の進捗状況につきましては資料に記載のとおりであり、平

成 28 年度から「赤平市炭鉱遺産活用検討協議会」において、炭鉱遺産周辺の目指す姿や概算事業費について協議を行ない、それをもとに「炭鉱遺産活用基本構想（案）」を作成し、市内 4 会場にて市民説明会を開催したのち「炭鉱遺産活用基本構想」を策定しました。なお、平成 30 年度実施予定の内容につきましては、ガイダンス施設資料展示設備整備として 30,000 千円、アスベスト囲い込みとして 5,500 千円を予定しています。また、財源につきましては、全額あかびら創生基金を予定しています。

次に、平成 30 年度実施予定の主な教育関係事業について説明いたします。

①ふれあいホール施設整備事業についてです。

事業の概要につきましては、高齢者の利便性・安全性確保のため、既存の和式 1ヶ所を残し和式・洋式便器からウォッシュレット付洋式便器へ全て改修するもので、平成 30 年度実施予定の内容につきましては、トイレ改修として 5,548 千円を予定しています。なお、財源につきましては、全額あかびらガンバレ応援基金を予定しています。

②交流センターみらい維持補修事業についてです。

事業の概要につきましては、平成 27 年度に施設の安全性の確保及び長寿命化を目的として、施設機能診断を実施しました。その診断結果に基づき、平成 30 年度以降の修繕・維持的補修を計画的に行なうものであります。なお、平成 30 年度実施予定の内容につきましては、可動式椅子修繕として 2,842 千円、自動ドア修繕として 937 千円、エレベーター LED 化として 360 千円、1 階 LED 化として 12,053 千円を予定しています。また、財源につきましては、全額あかびらガンバレ応援基金を予定しています。

なお、今回の提案事業につきましては、今後の予算協議等において、事業費などが変更になる可能性がありますので申し添えます。

以上で、平成 30 年度実施予定の教育関係の主要事業についての説明を終わりますので、よろしくご協議をお願いいたします。

○ 市長

ただいま平成 30 年度実施予定の主要事業（教育関係）につきまして説明がございましたけれども、これについて協議をしたいと思います。委員の皆様方、ご質問やご意見等ございませんでしょうか。

○ 瓜委員

まず、6 番の炭鉱遺産公園整備事業、これが計上されているわけですけど、赤平に住んでいる方たちに、赤平に対する愛着はあるかということ、殆どの皆さんが愛着を感じるはずですよ。赤平に誇りを持っているかということ質問に対しては殆どの方が首を傾げますし、誇りとまではなかなか感じてもらえないのが実態ではないかと思います。それで赤平というところは産炭地であり石炭というのは戦後の

日本を発展に貢献してきた産業であるということを、今度できるガイダンス施設を利用して普及していったらいいかなと思います。赤平市民としての誇りというものを感じさせるひとつの手段としてガイダンス施設、市民の賛否両論があったわけですが、これを十二分に活用していけないものかと考えております。

○ 市長

炭鉱遺産活用についてのご提言がございました。これについて何か考えていることはありませんか。

○ 社会教育課長

そう言ったことも含めて施設を有効活用するというのが、今後の課題でありますので、赤平だけではなくて日本国内の産業振興にも影響があったということで、今よく炭鉄港と言われますけどエネルギーを支えただけでなく産業振興にも役立つ機能を果たしたこともありますので、そういった赤平の歴史からどう繋がって効果を発揮したかを含めて、国の文化財指定も含めてそれらが市民にとって、今言われた愛着心だけではなく誇りというところに繋がっていくとも思われますので、そのための施設の環境整備を含めて努力させていただきたいと思います。

○ 市長

ご意見を十分に踏まえながら炭鉱遺産施設の有効活用して行くとうことでございますのでご理解賜りたいと思います。

そのほか何かございませんでしょうか。

○ 山本委員

学力向上対策に関して何ですけど、赤平の学力は今ひとつということではいろいろ懸案事項になっている訳なんですけど、今年度大学生の方が4名ボランティアというかたちで参入してきて下さってます。今後もですね多くの大学生が希望してくださるように赤平に来易い方向で条件を提示してもっともっと学生が増えるように、また子ども達も学校中心に学習に参加できるような体制をとって学力向上に努めていただいたらいいかなということと、もうひとつ、体力の方も今ひとつということです。こちら北翔大学と赤平は関係を持っておりますので、今、老人の方の体力向上に努めているようなんですが、子ども達にもう少し力を貸していただいて体力向上にもっと伸びるような形で協力していただいたらいいかなと思っております。

○ 教育長

体力向上のご提案いただきましたので、教育行政としても考えて参りたいと思います。現在、北翔大学の関係では子ども達の体力向上ということで走り方教室、

体力測定会という授業をやっておりますけど、社会教育が主催してやっている授業なので直接学校教育における体力向上と連携協定を結んでの北翔大学との協力関係というのは、まだありませんので学校現場がそういったことの受入可能であれば十分検討して参りたいと思います。学校も今、体力向上のためにですね1校1実践というような授業を実施したりして頑張っているところなので、まだまだ体力テストをやりますと全国体力運動能力運動習慣等調査をやっておりますけど、これの調査結果はまだ十分満足行く成果は得られておりませんので体力向上については大きな課題になっておりますので、ご提案の趣旨を活かした取り組みをして参りたいと思います。ありがとうございます。

○ 市長

よろしいでしょうか。(はい)

そのほか何かございませんでしょうか。

○ 坪谷委員

ガイドンス施設資料展示、これは是非お願いしたいことがありまして、現在小学校の3年生、4年生で地元の暮らし、昔の暮らしを学ぶ機会があるんですけども、現在、赤平には郷土資料館というものが無いんですよね、この施設を炭鉱に関連したものだけではなく、昔の暮らしも学べるような展示をしていただいて子ども達が赤平で学べるように、そういう施設に活用していただきたいなと思ってご提案させていただきたいと思います。

○ 市長

これについてはどうでしょうか。

○ 教育長

従前ですけれども、小学校3、4年生の授業でくらしや歴史を学ぶ時間があるのは承知しておりますし、いわゆる社会科副読本を使っていろいろ勉強していることも承知しております。その一環として炭鉱遺産の施設を見学する授業があるわけですけど、低学年の子どもであると現状のままでは環境的に不備があったという現実もあって今回ガイドンス施設ができますので、十分トイレ等の施設が整っておりますので、安心して子ども達の見学に耐える施設ができるなということで関係者も期待をしているところです。これから展示等については担当の方で学芸員を中心に検討しておりますのでそういった中にどの程度生活用品についても展示できるか、あるいはいっぺんに展示できなくても一定のサイクルで展示品を変えていくことは十分可能でありますので、今後、永続的に展示は続きますので、展示方法、展示サイクルをどういうふうにしていくかという問題として、ご提案を受けさせていただきたいと思います。

○ 市長

よろしいでしょうか。(はい)

そのほか何かございませんでしょうか。

○ 瓜委員

赤平のメンバーの方で、TANtan というのがございますね、吉田さんと三上さんが中心となってやっているわけですが、あの方たちの動きに対して市はバックアップ等はそれなりにしているのでしょうか。それほど大きな予算をもっているようなグループにも思えないのですが。芦別の方達から見ればこんなグループがいるのはすばらしいなと高い評価を受けていると聞いておりますので、市ができるバックアップというのはどの程度のものかわかりませんが、もうちょっと働きやすいとか動きやすいとか強力体制が市の方で今後考えられるかどうかお聞きしたい。

○ 社会教育課長

今、現状の TANtan のメンバーは基本的にはボランティアという形で活動されてます。ただ、ガイダンス施設ができるタイミングに合わせて、直接的に TANtan は法人格ではないものですから、今、NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団というところに、予算を通ってからの確定ですけど、企画或いはガイドそういったことに対して委託料をお支払いしてそしてそういったものも一部自分たちのイベント等に活用していただくということも検討しているところです。あと、今、TANtan まつりをやってますが過去に北海道の補助金を活用したり、今年度についてはまちづくり活動補助金というもので市のほうから直接支援をしているということで、これは場合によっては最大3年間補助金を活用することも可能ということになってますので、まったくしないということではないのですが、これまでは市の所有物ではなかったということも含めて自主的に民間施設を活用してやってたんですが、これからはガイダンス施設を機に市と一体的にやるという部分で一部委託料をお支払いしながら更なる事業展開に協力いただく予定をしております。

○ 市長

今の説明でよろしいですか。(はい)

いままでは基本的にはボランティアということでありまして住友の所有ということで月に1回ぐらいしか見学することができなかった。それから今、子ども達にもということであるが、教育長がお話したようにトイレが無いから長い時間滞在させることが困難であるとかいろんな不便さがありましたが、今回は建物ができて環境も整ったと、でも維持していくためにはお金がかかる。できるだけ私も財政に負担をかけないでやっていくということで、財源の確保に私自身も含めて皆で努力しようとふるさと納税を含めて頑張っているところですのでございます。

ので、あれもこれもということはいかないけれどもできるだけ運営しやすい環境を整えてあげるといのは我われの役目だと思っておりますから協議をしながら担当の方々にもご迷惑がかからないような形のなかでご協力していただくとところはいただき、行政として応援していけるとところは応援していくということでお互いに理解しながら運営をしていきたいというふうに思っていますのでご理解いただきたいと思います。

そのほか何かございませんか。

○ 教育長

今、30年度の実施に向けての主要事業のご提案いただいたんですけど、それぞれ提案いただいている事業なんですけど、総合戦略の関係でご提案いただいている事業が多いんですけど、29年度の現在ですね行政事務に関して教育委員会が担当課で実施している部分が多かったものですから外部評価をいただいて、その評価が昨年から継続してやっているものについての事業評価ということで、関連して人材育成であるとか高等学校の通学費支援であるとか学生ボランティアないしはICT関連の事業評価でありますので、いずれも外部評価の中では達成度、効果度ともに高い評価をいただいたなと思っております。特に人材育成の奨学金の関係、通学費の支援の関係では経済的に保護者の方々に好評を得た負担軽減を図ることができたと、今後も継続するようにとの評価をいただきましたので30年度に向けての事業提案ということで継続は十分意味があるな、値があるなと私も手ごたえを得ておりますので、今回提案ありました主要事業については次年度も継続させていただければ大変ありがたいと思っておりますので一言付け加えさせていただきます。

○ 市長

教育委員会の皆様のご意見をそれぞれ聞かせていただきました。

今後、教育委員会の中で、予算に関する議論をされることと思います。その後、予算の要求を受けまして、吟味いたしまして必要な予算を私達も頑張って措置してまいりたいと思います。

予算の説明にもございましたけれども、しごと・ひと・まち創生総合戦略では、「若者が安心して子どもを生み育てられる地域づくり」等4つの基本目標を掲げ、施策を実行していくこととしておりまして、現在、効果検証会議では、今、教育長からもお話がありましたように

施策進捗状況等の確認を進めているところで、更に、教育委員会と市長部局が一体となって、様々な政策を展開していかなくてはならないと思っておりますので、是非、教育委員の皆様の今後のご協力を賜りたいと思っております。

それでは、30年度の主要事業について、或いはその他についてはよろしいでしょうか。(はい)

以上で、本日予定しておりました議題の協議を終わります。

3 諸連絡・閉会

○ 総務課長

事務局より次回の会議の開催につきまして、ご連絡させていただきます。

児童、生徒等の生命又は身体に被害が生ずるおそれがある場合等の緊急の場合には必要に応じて会議を招集させていただきたくしますが、通常の場合であります
と新年度に入ってから開催を予定しており、改めてご案内をさせていただきます
ので、よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、平成29年度第1回赤平市総合教育会議を閉会といたします。
本日は、ご協議ありがとうございました。